

注目のカウファミリー 第38回

ウィッターファームズ アウトサイド ロズ EX-95

写真1



今回紹介するファミリーは7代連続EXを達成しながら、現在米国の経産牛TPI上位に数多くの娘牛がランキングしている好体型・高インデックスの「ウィッターファームズ アウトサイド ロズ」です。当ファミリーの血液を遡ると、マサチューセッツ州のホイットィア牧場で30年以上に渡り改良されてきたファミリーになります。ホイットィア牧場は名血「リード・メイ」を生産したことで著名です。

当ファミリーの代表牛であるウィッターファームズ アウトサイド ロズ EX-95【写真1】はアウトサイド×ジエイムス×リーダーというカナダを代表する好体型の種雄牛による掛け合わせで、3歳8ヵ月EX-

92点(3歳級として最高得点)を獲得、ベストレコードは4歳8ヵ月 305日15,336kg 3.8F% 3.4P%を記録しています。ファミリーの体型改良を色濃く受け継ぎ、8頭のVG級・9頭のEX級娘牛を生産しています。特にエレガントとの交配は相性が良く、9頭ものエレガント娘牛を輩出しています。アウトサイド・ロズは、2007年ニューヨーク州スプリングショウでも4歳クラス1位に輝いています。

カナダのオンタリオ州チェリークレスト牧場はその娘牛の中の1頭ウィッターファームズ HE レベツカET EX-91【写真3】を未經産時に購入し、彼女の受精卵からチェリークレスト マノマン ロズ ET EX-91【写真4】が誕生しました。マノマン・ロズは当ファミリーをインデックス面でも世界トップクラスに引き上げたもう1頭の代表牛です。

2010年、ウィスコンシン州北東部ニュートンに位置するシーマーズ牧場のオーナーであるジョーダン・シーマーズ氏は、ゲノミック評価を利用した改良を進めるべく基礎牛を探しており、ワールド・クラシック・セールにて当時未經産牛のマノマン・ロズを購入しました。シーマーズ牧場は搾乳牛2,500頭を抱える大規模牧場であり、過去にはシヨトル・ボンビ EX-94やトライデイ・アシュリン EX-96といった名牛を所有したトップブリーダーですが、今や当ファミリーは当场を代表するカウファミリーとして急速に繁栄しています。

マノマン・ロズは初産から305日17,526kg と高能力を発揮しました。また、未經産の頃から採卵とOPUを重ね、数多くの産子を残し、その数は100頭を超えています。特にマツカチエン・ウインドブルツク・ドアマン娘牛はEXを獲得、それぞれの枝葉から高インデックスの娘牛を多数輩出しています。

シーマーズ WINDBK ロザン ET EX-93【写真6】の枝葉からは、2018年4月公表の経産牛TPI第1位に輝いたシーマーズ デルタ エスロズアン ET VG-86【写真9】が登場しています。2018年8月公表の経産牛TPIトップ50頭にはマノマン・ロズの子孫6頭がランクインしています。更にGTPI第4位と27位の未經産牛の母であるシーマーズ ルビコン Dロツツア ET VG-87【写真14】は世界の授精所から熱い注目を浴びています。

マノマン・ロズの全姉妹の枝葉からは、ピーク ローザ MNRTY 1110 ET【写真16】が3歳6ヶ月でEX-92点(3歳級として最高得点)を獲得し大きな話題となりました。

好体型からゲノミック評価を利用し、乳牛改良を牽引するエリートカウファミリーとなった当ファミリーから目が離せません。



系統図

